

ヒガンバナ (彼岸花)

名前の意味：秋のお彼岸ひがんごろに咲く花の意味。

分類：単子葉類、ヒガンバナ科、ヒガンバナ属

(ヒガンバナ科の栽培植物：スイセン)

好きな場所：日当たりのよい土手

分布：本州、四国、九州

原産地：昔、中国からやってきたと言われている

特徴：スイセンのような葉、赤い花。葉は秋に花が終わってから出て春かに枯れる。

種子の運ばれかた：種子はできない

花弁の数：離弁りべん、6裂れつ

花の時期：9月

食べ方：毒があり、食べると吐くは

見分け方：スイセンの仲間は春に白か黄色い花を咲さかせる。キツネノカミソリは林の下に生え、夏にオレンジ色の花を咲さかせる。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度そうごうなんいど ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)